

平成 26 年度 事業報告書

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 チヨウタリイの会

1 事業の成果

当期における「困難な状況にある子どもたち等に対する教育、保健等の支援事業」では、タイにおいて HIV に感染している家族を持つ子どもたちへの就学等の支援を行い、インドネシアにおいては、ストリートチルドレン等の子どもたちへの就学等の支援及びスラム地区のフリースクールに対する支援を行いました。同事業は、当法人が任意団体時の 1998 年より行っている事業です。

この活動の目的は、社会的に困難な状況にある子どもたちに教育の機会を与え、仕事に就くことのできる教養を身につけてもらい、貧困から脱却し、未来に希望を持てる環境を造ることです。

同事業の成果としては、当法人が支援しているタイ、インドネシアの困難な状況にある子どもたちは、就学支援により学校やフリースクールに通うことができました。その点においては一定の成果を得ることができたものと思います。

しかし、ここ数年における東南アジアの急激な経済発展のため、物価の高騰が激しくなり、貧富の経済格差はより拡大しています。インドネシアのスラム地区にあるフリースクール支援事業においても当地の地価が値上がりし、地主による土地の売却によりスラムの解体が進んでいます。そのためフリースクール支援事業においては、大きな影響を受けています。

同事業におけるインドでの活動では、当法人が任意団体時の 2008 年よりコルカタのスラム地区のバシャ、シッカミトラ、エンパワー・ザ・チルドレンの 3 つのフリースクールに対して支援を行ってきました。当期においては、講演会や国際イベントの出展などにおいて、インドのスラム地区でのフリースクールの重要性、貧困や教育などの問題などを写真の掲示やパネル等により来場者に説明しました。そのことにより多くの人々に関心を持って頂くことができました。

当法人の主要事業である「途上国における教育環境の改善を図るための校舎建設等の協力事業」においては、当法人がネパール国内で建設支援を行っている公立学校のシャンクヘショア・マハ・ラクシミ学校、ドゥクドヘショア学校、ダプチャ学校、バルジョティ学校の 4 校の新校舎が完成しました。

また、前期より建設中のティラウラコット学校、プルナ・ケシャー学校の 2 校の学校もほぼ完成し、さらに期中において、ギャネショリイ学校、ジャナヒット・ハイガー学校、ナラヤンシタン学校、ナバ・プラティバ学校の 4 校の新校舎の建設支援事業を開始しました。

同事業の成果としては、新校舎が完成した当該 4 校の教室不足の問題はほぼ解消しました。これまで教室不足のため学校に通えなかった当該 4 校の地域の子どもたち約 185 人以上が学校に通うことができるようになりました。

また、老朽化により崩壊の危険があった旧校舎を撤去したことで、校内の環境が安全になり、雨天でも授業を行うことができるようになりました。

さらに、教師や生徒においては、教育や勉学に対する意欲が高まり、また地域の人々も女子を含めた教育の重要性をより深く認識してもらったものと思います。

当法人が建設支援を行っている校舎は、全て耐震構造により建設しています。したがって、災害時には被災者のための避難所としての機能も兼ね備えており、当該支援学校地域の安全に貢献できるものとなっております。

同事業に伴って、「国内外の伝統文化等の紹介及び国際交流に関する事業」として 2014 年 11 月にシャンクヘショア・マハ・ラクシミ学校、ドゥクドヘショア学校の 2 校の新校舎の開校式に日本の支援者約 20 人と共に出席しました。ネパール側も生徒、教師、地域の人々などが多数出席して日本とネパール両国の歌や踊りも交えて和やかに開校式が行われました。

これらの活動の成果として、当該2校の地域の人々に教育の重要性を認識してもらい、また民間レベルにおいての日本とネパールとの交流を大いに深めることができました。

「途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の環境改善を図るための協力事業」では、インドネシアにおいて経済的に貧しい人たちに対して無料でお産の処置を行っている助産院ヤヤサン・ブミ・セハットへの支援を行いました。

当法人では、任意団体時の2007年より同助産院に対し支援を行っています。

同事業の成果としては、同助産院の運営が安定して行われ、バリ州における経済的に貧しい妊産婦が安心して出産できる体制が確保されました。そのため妊産婦や新生児の死亡率の低下に貢献しています。

また、同事業においてインドネシアにおけるストリートチルドレン等の保護を行っている養護施設ヤヤサン・プルマタ・バリへの支援を行いました。

同養護施設には、任意団体時の1999年より支援を行っており、その成果として多くのストリートチルドレンと呼ばれる子どもたちが、同養護施設の保護のもと、学校に通い、安全にのびのびと日々の生活を健やかに送ることができています。

「途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の人材育成を図るための協力事業」では、インドネシアにおける助産師不足の解消を目的とした助産師養成のための就学支援について、当期において養成期間が終了したため、新たな支援についての検討を行いました。同支援活動の成果においては、まだ結果はでておりませんが、将来において助産師の増加に伴いインドネシアの妊産婦や新生児の死亡率の減少につながるものと考えております。

「HIV及びAIDSの予防を目的とした啓発事業」では、タイの現地NGOサイアム・ケア・ファンデーションと協働で行っており、これからの活動について連絡を取り合いました。

同事業は、当法人が任意団体時の1998年より行っております。成果としては、医学の発展も大きな要因ではありますが、感染予防の啓発が人々に周知され、事業開始当時に比べて感染率が減少し、感染患者の死亡率も低下しました。

「途上国等における自立を目指す人々への協力事業」では、自立を目指す人々の製品の技術等の支援をネパール、インドネシアで行い、当法人では、それらの製品の紹介を奈良市内で行いました。多くの人々から好評を得ることができました。自立を目指す人々の技術の向上にもつながるものと思います。

「機関紙、刊行物、講演、展示会、ウェブサイト、映像上映等による広報及び啓発事業」においては、当法人の機関紙「チョウタリ通信」を作成し会員、支援者、一般の人々に配布しました。

また、大阪市内で当法人の事業活動についての講演を支援者に行いました。

更に当法人の活動状況の記事を作成し、フリーペーパー誌に投稿し会員や一般の人々に配布しました。

「関連団体及び関係する国際機関との相互協力」においては、当期においても西日本最大の国際協力と交流のイベントであるワン・ワールド・フェスティバルにブース出展しました。

また、一般社団法人大阪青年会議所が主催するピースフェスティバルにもブース出展しました。

両イベントにおいて、当法人の活動内容などを多くの人々に説明することができました。

「災害復興協力事業」における東日本大震災被災地の女性の仕事作り支援は、当法人が任意団体時よりきもの地等を被災地の女性グループに送り、クラフト製品作りの協力を行っています。期中においては、奈良市内にて同事業における女性の仕事作り支援のためのクラフト製品の素材となるきもの地等の寄附の呼びかけを行い、また、商品開発のためのデザインの構想、サンプル品の作成などを行いました。

同事業の成果においては、生産力の向上や販路の開拓などの課題はありますが、魅力ある製品が製作されており、技術力の向上を感じることができました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 支給額(千円) |
|--|---|------|--------------------------------|--------|---------------------------|---------|
| 困難な状況にある子どもたち等に対する教育、保健等の支援事業 | タイにおいてHIVに感染している家族を持つ子どもたちへの就学等の支援を行った。 | 通年 | タイ バンコク ムクダハン県、 バンガー県 | 2名 | HIV感染者を家族に持つ子どもたち10名 | 431 |
| | インドネシアにおけるストリートチルドレン等の子どもたちへの就学等の支援を行った。 | 通年 | インドネシア デンパサール市 カラニアセム県 | 2名 | 養護施設等で保護されている子どもたち約25名 | 276 |
| | インドネシアにおけるスラム地区のフリースクールに対する支援を行った。 | 通年 | インドネシア デンパサール市 | 2名 | フリースクールに通う子どもたち約30名 | 261 |
| | インドにおけるスラム地区3校のフリースクール状況報告及び支援の呼びかけを行った。 | 8月2月 | 大阪市 奈良市 | 2名 | フリースクールに通う子どもたち約300名 | 50 |
| 途上国等における教育環境の改善を図るための校舎建設等の協力事業 | ネパールにおいて老朽化し教室が不足している公立学校4校の新校舎が完成した。さらに2校がほぼ完成し、新たに4校の新校舎の建設支援を開始した。 | 通年 | ネパール バクマティ県 ルンビニ県 | 2名 | 校舎建設地域の子どもたち、住民、教師等 | 22,311 |
| 途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の環境改善を図るための協力事業 | インドネシアにおいて経済的に貧しい人たちに対して無料で助産行為を行っている助産院への支援を行った。 | 通年 | インドネシア ギャニャール県 | 2名 | 同助産院地域の住民等 | 173 |
| | インドネシアにおけるストリートチルドレン等の保護を行っている養護施設への支援を行った。 | 通年 | インドネシア デンパサール市 カラニアセム県 | 2名 | 養護施設の子どもたち約25名 | 286 |
| 途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の人材育成を図るための協力事業 | インドネシアにおける助産師不足の解消を目的とした助産師養成のための会議を行った。 | 通年 | インドネシア ギャニャール県 | 2名 | 助産師をめざす学生及び助産師不足の地域住民等 多数 | 117 |

| | | | | | | |
|--|--|-----------|-------------------------|-----|------------------------|------|
| HIV及びAIDSの予防を目的とした啓発事業 | タイにおいての現地 NGO との協働による HIV 及び AIDS の予防啓発活動についての会議を行った。 | 3月 | 奈良市 | 2名 | 現地の住民等 不特定多数 | 134 |
| HIV及びAIDS感染者の人権を擁護するための事業 | タイにおいて現地 NGO との協働による HIV 及び AIDS 感染者人権擁護に関するセミナー等の開催。 今年度は、実施しない。 | 実施せず | | | | 0 |
| 途上国等における自立を目指す人々への協力事業 | 途上国における自立を目指す人々の製品の技術等の支援及び日本国内での製品の紹介を行った。 | 通年 | ネパール インドネシア 奈良市 | 4名 | 生産者及び授産施設で働く人々 約30名 | 141 |
| 国際協力及び海外事情の調査研究に関する事業 | 途上国等における、経済格差による貧困等の実態調査及び研究等。 今年度は、実施しない。 | 実施せず | | | | 0 |
| 機関紙、刊行物、講演、展示会、ウェブサイト、映像上映等による広報及び啓発事業 | 事業活動についての講演を行った。 | 10月 | 大阪市 | 2名 | 講演聴衆者 約1000名 | 58 |
| | 機関紙「チョウタリイ通信」を作成した。活動状況を、フリーペーパー誌に投稿した。 | 6月 11月 | 奈良市 | 2名 | 不特定多数 | 26 |
| 社会教育及び政策提言事業 | 国際協力、貧困問題等についての公開講座等の開催及び提言。 今年度は、実施しない。 | 実施せず | | | | 0 |
| 関連団体及び関係する国際機関との相互協力 | ピースフェスティバルに出展した。 ワン・ワールド・フェスティバルに出展した。 | 8月 2月 | 大阪市 | 約3名 | 来場者 多数 | 102 |
| 災害復興協力事業 | 東日本大震災被災地の女性の仕事作り支援を行った。 | 通年 | 奈良市 巨理郡 | 約3名 | 巨理郡の女性 被災者 約10名 | 176 |
| 国内外の伝統文化等の紹介及び国際交流に関する事業 | ネパールにおける公立学校2校の新校舎完成の開校式に出席した。 また、カトマンズ内にある小規模の私立学校を訪問し交流した。 | 11月 | ネパール バクマティ県 ルンビニ県 | 2名 | 校舎建設地域の子どもたち、住民、教師等 | 1118 |

(2) その他の事業

| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施 予定 日時 | 実施予定場所 | 従事者 の予定 人数 | 支出見込額 (千円) |
|----------|---|----------------|--------|------------------|---------------|
| イベント開催事業 | フェアトレード及び途上国等 における手工芸品等のイベン ト開催事業 今年度は実施しない。 | 実施せず | | | 0 |
| 文化教育事業 | 英会話教室の受託事業 今年度は実施しない。 | 実施せず | | | 0 |